

単元名・教材名		森林について興味を持ったことを調べよう 「森林のおくりもの」 東京書籍 国語 5 年下			
単元のねらい	○森林に関心を持って読み、進んで調べてみたい課題を探し、「環境ブックガイド」を作ろうとする。 (関心・意欲・態度)				
	◎自分の課題を解決するために、目次や索引、見出しを利用するなど効果的な方法を選んで読むことができる。 (読む) (1) イ				
	◎題名や文章の構成、事実と意見との関係を押さえながら読み、要旨をとらえることができる。 (読む) (1) ウ				
	○自分の課題を解決するために、複数の本を探することができる。 (読む) (1) カ				
	○文章の中での語句と語句との関係を理解することができる (伝国) (1) イ (オ)				
本単元における言語活動					
・環境に関する課題を設定し、解決に向けてブックガイド (①本の情報、②課題に対する回答、③筆者の主張) を作成し、成果を交流する。					
指 導 計 画 ・ 評 価 規 準					
段階	時間	目標	主な学習活動	具体的な書く活動	評価規準 (評価方法)
見通す	1	・学習のねらいを確かめ、教材文を読んで初発の感想を交流することができる。	・学習のねらいを確かめ、初めて知ったことや詳しく調べてみたいことを発表する。 ・並行読書をして『環境ブックガイド』を作成することを知り、イメージを持つ。	・本文を読み、初めて知ったことや自分でもっと詳しく調べてみたいことをカードに書く。	【関】 (発言・ノート・様子) 森林について関心を持ち、問題意識をもって学習に取り組もうとしている。
	2	・文章構成をおさえ、事実と意見との関係に気をつけ、内容の大体を読むことができる。	・文章全体を序論・本論 I・II・結論に分ける。 ・文章を事実と意見に分けながら読む。	・筆者の意見が書いてある文にサイドラインを引く。	【読】 (発言・教科書) 文章構成図を参考に文章構成をおさえ、事実と意見の関係に気をつけながら内容の大体を読んでいる。
深める	3	・本論 I を読み、木材の利用について具体例の挙げ方に気をつけながら読むことができる。	・木材の性質を生かした利用の仕方や木材以外の用途について読み、紹介したい内容についてまとめる。	・木の用途などにサイドラインを引く。 ・木材の性質を生かした利用や木材以外の用途について書く。	【読】 (発言・ノート・シート) 木材の利用について具体例の挙げ方に気をつけて読んでいる。
	4	・本論 II を読み、森林の「別のおくりもの」とは何かを読むことができる。	・「別のおくりもの」について読み、紹介したい内容についてまとめる。	・森林のはたらきについてサイドラインを引く。 ・「別のおくりもの」とは何なのかを書く。	【読】 (発言・ノート・シート) 森林の「別のおくりもの」とは何かを読んでいる。
	5 (本時)	・結論部分の事実と意見の関係を押さえながら、要旨をまとめることができる。	・事実と意見の関係を押さえながら、要旨をまとめる。	・筆者の意見が書かれた文に着目し、大切な言葉をとらえる。 ・その言葉を活用して、要旨をまとめる。	【読】 (発言・ノート・シート) 筆者の意見に着目し、大切な言葉や文を選び、要旨をまとめている。 【言】 (発言・ノート・シート) 文章を特徴付ける語句 (キーワード) を相互に関連づけながら読んでいる。
まとめる	6 7	・自分の課題を解決するために、複数の本を探して読んだり、目次や索引、見出しを利用するなど、効果的な方法を選んで読んだりすることができる。	・自分の課題を決める。 ・課題を解決するために複数の本を読んだり、効果的な方法を選んで読んだりする。 ・選んだ本の情報と課題を「環境ブックガイド」に記入する。	・自分の課題や選んだ本の情報を「環境ブックガイド」に書く。	【読】 (シート) 自分の課題を解決するために、複数の本を探して読んでいる。 【読】 (シート) 自分の課題を解決するために、目次や索引、見出しを利用するなど、効果的な方法を選んで読んでいる。
	8 9	・事実と意見の関係を押さえながら読み、自分の課題に対する答えや要旨を「環境ガイドブック」にまとめることができる。	・自分の課題に対する答えを「環境ブックガイド」にまとめる。 ・要旨を「環境ブックガイド」にまとめる。	・自分の課題に対する答えをまとめ、「環境ブックガイド」に書く。 ・要旨を 100 字以内にまとめ、「環境ブックガイド」に書く。	【読】 (シート) 事実と意見の関係を押さえながら文章を読み、自分の課題に対する答えを簡潔にまとめている。 【読】 (シート) 筆者の意見に着目し、大切な言葉や文を選び、要旨をまとめている。
	10	・「環境ブックガイド」を読み合い、作品の交流をすることができる。	・「環境ブックガイド」の交流会を開き、作品の感想を交流する。 ・本単元の学習を振り返る。	・友だちのブックガイドに対し、一言感想を書く。 ・本単元の学習の振り返りを書く。	【関】 (シート) 多くのブックガイドを読み、一言感想を書くため、作品の交流に進んで取り組んでいる。

本時の指導・・・目標 結論部分の事実と意見の関係を押さえながら、要旨をまとめることができる。

		展	開
段階	学 習 活 動	指 導 方 法 や 留 意 点 (○教師の働きかけ ■書く活動 ◇評価)	
つかむ (5分)	1 前時想起 「別のおくりもの」とはどんなものだったのかについて振り返る。	○ノートや壁面掲示を見ながら、これまでの学習を振り返る。 ○筆者の主張が結論部分に書いてあることを確認する。	
	2 課題把握 結論部分を読んで、100字以内に要旨をまとめよう。	■課題をノートに書かせ、本時の目標を確認する。	
深める (30分)	3 音読 (結論部分 37～39段落)	○課題解決に向けて、筆者の考えがどこにあるのか視点を与えて読ませる。	
	4 学習の見通し 5 一人学び ・課題について、自分の考えた要旨をノートに書く。 ①筆者の考えが伝わる大切な言葉にサイドラインを引く。 ・わたしたちは森林のお世話になり続けてきた。 ・先祖がおくってくれたかけがえのない遺産。 ・緑豊かな国土に生まれたことを感謝しなければならぬ。 ・森林を育てるすばらしさ、尊さを考えなければならぬ。 ②100字以内にまとめる	○一人学びの手立てを示し、見通しをもって取り組むことができるようにさせる。 ①結論部分の中から筆者の考えが伝わる大切な言葉にサイドラインを引く。 ②その言葉を活用して、100字以内にまとめる。 ■筆者の考えが伝わる言葉をとらえ、その言葉を使って要旨をまとめる。	
	6 全体交流 ・自分の考えを発表し、友達の考えと自分の考えを比べる。	◇ 具体的評価規準 (読む能力) ・筆者の意見に着目し、大切な言葉をとらえ、条件に合わせて要旨をまとめている。 (言語についての知識・理解・技能) ・文章を特徴付ける語句(キーワード)を相互に関連付けながら読んでいる。 支援の手立て ・筆者の述べたいことは何かをノートや掲示を参考に振り返りながら書くことができるよう助言する。	
まとめる (10分)	7 各自のまとめ ・全体交流を通してわかったことや学んだことを生かして本時のまとめを書く。	○繰り返し使われている言葉(「わたしたちは」「しなければならぬ」)から、筆者の考えが強く表われていることをおさえる。 ○「筆者の考えが伝わる言葉」と考えた根拠も発表させる。 ○文章を特徴付ける語句(遺産、感謝、先祖、森林のおくりもの等)を関連づけて、筆者の主張について考えさせる。	
	8 まとめ交流 ・自分のまとめの発表をする。	■ 学習課題のまとめを書く。 ○一人学びで書いたものを生かして、加除修正を行うようにさせる。	
	(例) わたしたちは森林のお世話になり続けてきた。森林は、先祖からおくられたかけがえのない遺産である。だからこそ緑豊かな国土に生まれたことに感謝し、森林を育てる素晴らしさ、とうとさを考えなければならぬ。(99字)		
	9 振り返り ・本時の学習について振り返る。 10 次時予告 ・ブックガイドを作るための資料収集等を行うことを知る。	○並行読書をしてきた本の中から、自分の課題解決に必要な資料を収集・整理していくことを伝える。	